

静岡市英語教育改善プラン

実施内容

(1) 英語教育の状況を踏まえた目標及び目標達成のための取組

①「CAN-DO リスト」の形式による学習到達目標の整備状況（設定・公表及び達成状況の把握等の状況）

小学校	2021年度（達成値）設定	86.9%	公表	15.5%	達成状況の把握	50.0%
	2022年度（目標値）設定	100%	公表	50.0%	達成状況の把握	75.0%
中学校	2021年度（達成値）設定	97.7%	公表	30.2%	達成状況の把握	39.5%
	2022年度（目標値）設定	100%	公表	100.0%	達成状況の把握	100%
高等学校	2021年度（達成値）設定	100%	公表	100%	達成状況の把握	100%
	2022年度（目標値）設定	100%	公表	100%	達成状況の把握	100%

【小学校】 中高の「CAN-DO リスト」設定の考え方を受けて、「言語を用いて何ができるようになるか」という観点から小学校でも「CAN-DO リスト」設定を進めている。専科教員研修会で「CAN-DO リスト」について説明し、例を提示したため、設定については86.9%と比較的高い値になった。今後は研修会で演習などを通してそれぞれの学校独自の「CAN-DO リスト」を教員が作成し、設定100%を目指す。また、公表についての考え方も周知していく。

【中学校】 学習指導要領及びCEFRに準拠した「CAN-DO リスト」の活用に向け、市が定める様式を改め、例を示した。学校ごとの作成43校（全校）を目指すとともに、生徒との共有を働きかけ、公表目標値を21校に設定した。また、公表や達成状況の把握についてはその方法も含め、周知徹底を図る。各種研修会では、パフォーマンステストや定期テスト等の適切な作成方法や実施方法など学習到達目標の達成状況を把握する具体的な方法についても周知する。

【高等学校】 市立各校において県と共通の様式を用いて設定し、学校ホームページ、シラバス等で公表した。「CAN-DO リスト」の学習到達目標に基づいて、授業における活動のねらいを絞り、手順等を工夫しているが、昨今の事情で軌道修正が必要となることも多い。学年が変わり、担当者が変わっても、生徒が戸惑うことのないように、教員間でゴールを共有することは重要だ。今後も生徒の英語力の実態に合わせながら、授業研究、授業改善を重ねていく。

②授業における、生徒の英語による言語活動の占める割合

2021年度（達成値）	中学校	58.3%	高等学校	82.5%
2022年度（目標値）	中学校	90.0%	高等学校	95.0%

【中学校】 「言語活動」とは「生徒が自分の思いや考えを伝え合う活動」である。新型コロナウイルスの影響から、言語活動そのものの設定が難しくなっていることが考えられる。今後は引き続き授業づくりの研修等を通し、受講者一人一人が授業改善の意識を高め、英語による言語活動を通して4技能5領域を指導することを周知していく。学校訪問や経年研修においても場面、目的、状況を意識した課題設定で言語活動の必然性を意識した授業づくりを求めていく。

【高等学校】 半分以上を言語活動が占める授業の割合は2019年度調査と比べて11.5ポイント下降した。限られた時間内で授業の進度を保つために、教員が生徒の活動時間を削らざるをえない状況は容易に想像できる。生徒は話す、書くというアウトプットをすることで、伝えたいことと伝えられることの差に気づき、この差を埋めるために知識を補強したり、新たな知識を得たりするインプットの欲求が生まれるという仮説もある。生徒はだれもが学習意欲をもっている。積極的にアウトプットを取り入れ、学習効率を上げることを推奨する。

③「話すこと」及び「書くこと」における外国語（英語）表現の能力を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテスト等のパフォーマンステストの実施状況

スピーキングテスト ライティングテスト

中学校 2021年度（達成値） 3.6回 3.1回

2022年度（目標値） 4回 4回

高等学校

現行課程 スピーキングテスト

コミュニケーション英語Ⅰ 5回

コミュニケーション英語Ⅱ 3回

コミュニケーション英語Ⅲ 2回

英語表現Ⅰ 2.5回

英語表現Ⅱ 0回

ライティングテスト

コミュニケーション英語Ⅰ 5回

コミュニケーション英語Ⅱ 2回

コミュニケーション英語Ⅲ 1回

英語表現Ⅰ 4.5回

英語表現Ⅱ 9回

新課程 スピーキングテスト

英語コミュニケーションⅠ 5回

英語コミュニケーションⅡ 5回

英語コミュニケーションⅢ 5回

論理・表現Ⅰ 5回

論理・表現Ⅱ 5回

論理・表現Ⅲ 5回

ライティングテスト

英語コミュニケーションⅠ 5回

英語コミュニケーションⅡ 5回

英語コミュニケーションⅢ 5回

論理・表現Ⅰ 5回

論理・表現Ⅱ 5回

論理・表現Ⅲ 5回

【中学校】半期に2回程度は、それぞれのパフォーマンステストを実施するよう求める。スピーキングテストについては、ALTを十分に活用し、生徒が英語で自分の思いや考えを伝えることができる場面を設定したい。評価については、評価規準を確実に設定し、各単元の目標を生徒と共有し、生徒が自らの学習改善につながるよう努める。ライティングについては、全国学力学習状況調査の問題を参考に、定期テスト等の改善を図る。学校訪問や研修会では、より適切なパフォーマンステストの作成や実施方法など具体的な方法について周知していく。

【高等学校】平均するとスピーキングテストを2.5回（2019年度調査では3.1回）、ライティングテストを4.3回（2019年度は5.3回）実施している。公開授業などで見るかぎり、即興的に話す活動、自分の考えや気持ちなどを書く活動が定着してきているようだ。一人一台端末の整備に伴い、パフォーマンステストの評価などで、各自のデバイスを積極的かつ効果的に活用することが一層期待される。

④授業における、英語担当教員の英語使用状況

1 単位時間のうち、発話の半分以上を英語で行っている教員の割合

2021年度(達成値) 中学校 65.6% 高等学校 46.0%

2022年度(目標値) 中学校 95.0% 高等学校 95.0%

【中学校】「授業は英語で行う」ことが基本であるという教員の意識改革が進み、発話の半分以上を英語で行っている教員の割合は増加傾向にある。指導主事による学校訪問では、授業を実際のコミュニケーションの場面とする指導を通して生徒の英語力向上を図った取組について紹介していく。また、モデル授業の公開等を行い、言語活動を通して指導する方法について理解を深めていく。

【高等学校】2019年度比20ポイントの下降である。マスク越しに話す英語は、相手に届きにくいのではないかという意見が教育委員から出された。口の動きや表情を見ることができないのは英語を教える本来の姿ではないかもしれないが、教員には感染症対策を徹底しながら、はっきりと発音したり、ジェスチャーを使ったりして伝える努力を継続してもらいたい。

⑤求められる英語力を有する英語担当教員の割合

2021年度(達成値) 中学校 40.9% 高等学校 95.0%

2022年度(目標値) 中学校 40.0% 高等学校 100.0%

【中学校】海外派遣研修員及び教職大学院への派遣教員(計2～3名)に対して、校長は外部検定割引制度を活用し、英語検定等の資格試験の受験を勧奨する。今後は10年目までの若手教員を中心に、悉皆での資格試験の受験を検討する。

【高等学校】市立2校の英語教員の英語力は依然として高い水準にある。外国語の習得に成功した日本人教員は、生徒にとって最も身近なロールモデルである。新学習指導要領導入後も、その力が学校現場でますます発揮できるよう、教育委員会として支援を継続していく。

⑥求められる英語力を有する生徒の割合(中学校第3学年、高等学校第3学年)

2021年度(達成値) 中学校 46.7% 高等学校 90.7%

2022年度(目標値) 中学校 50.0%以上 高等学校 95.0%

【中学校】授業ではCEFRに準拠した「CAN-DOリスト」に基づく「指導と評価の一体化」を図り、教員が生徒の英語力を正しく評価し、CEFR A1レベル相当数について把握できるようにする。

【高等学校】CEFR A2レベルの英語力を有する生徒の割合は、2019年度比で8.3ポイント上昇した。市立の2校では3年生までに全員GTECを受検している。英検など外部試験の受験者を支援する体制も整っている。生徒が自律した学習者として生涯にわたって学び続けることができるよう、教員による励行を促す。

新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合

2021年度(現状値) 英語資格所有の新規採用者数(小学校) 計12名 14.6%

2022年度(目標値) 英語資格所有の新規採用者数(小学校) 計25名 31.3%

小学校外国語教育の早期化、教科化に伴い、一定の英語力を有し質の高い英語教育を行える人材を確保するために、教員採用試験において積極的に加点措置等を行う。静岡大学及び常葉大学の学生を対象とした新年度採用説明会では、静岡市が求める教師像の具体について周知する。教員養成においては2025年度までに2020年度から毎年5名増で有資格者を確保し、小学校教諭新規採用者の50%以上(40名)が国の示す一定の英語力を有するという目標を達成する。

(加点措置の例：令和3年度採用試験時点)

- ① 中学校（又は高等学校）英語の免許状を有する者
- ② CEFR B2相当以上の英語力を有する者

【小学校専科（英語）】の積極的な配置について

2021年度（現状値）小学校専科教員 小学校の配置 20名、中学校の配置 5名 計 25名
 2022年度（目標値）小学校専科教員 小学校の配置 27名、中学校の配置 11名 計 38名

学習指導要領で目指す「小学校外国語科」の授業実践のために、中学校英語科教員等の英語に堪能な人材を専科教員として配置する。最大3校を兼務し、中学校区で同一の指導がなされるようにする。

また、専科教員が配置された学校の学級担任は、専科教員が実施する授業を参観するなど、あらゆる機会を捉え、小学校外国語教育についての見識を深めるとともに、専科教員からの指導や助言をもとに、自らの授業実践に向けて準備をする。

(2) (1)の目標達成ための研修の体系と内容の具体

教員のニーズに合わせ、質の高い教員育成を目指し、以下のように各種研修会を設定する。

小学校外国語指導に不安のある教員や指導経験の浅い初任者等については、(1)の研修会への参加を促し、初歩的なレベルから楽しく小学校外国語教育について学び、英語力及び指導力の向上を図る。

指導にある程度の自信のある教員については、(2)、(3)の「授業づくり研修」において、文部科学省教科調査官等から最新の情報を入手し指導助言を得ることで、自らの授業改善に取り組むことが期待される。

小学校や中学校において外国語教育で活躍する教員に対しては、(4)の研修に参加し、公開授業等を通して、静岡市が目指す外国語授業の具体を全市に広めることが望まれる。

さらに、これからの静岡市外国語教育を推進する優秀な人材には、(5)、(6)、(7)の海外研修の機会を与え、英語力・指導力の向上はもちろん、国際的な視野を広げ、「グローバル人材」のモデルとなることが期待される。

また、全ての教員を対象として、(8)、(9)の研修を設定し、個々の指導力の向上と各校の研修の成果を全市に広めることを目指す。

外部人材（ALT・GET）については、(10)、(11)、(12)の研修への参加を通して、指導力のさらなる向上を図る。さらに学級担任や英語科教員を支援したり、児童生徒の有効なコミュニケーションの対象となったりすることが期待される。

(1) 研修会名 外国語活動・小学校外国語科の授業についての説明会 【教育センター】

- ①目的 学習指導要領における小学校外国語の授業の目標や活動について講義・演習を行い、中学校英語科の授業との違いを知る。
- ②対象者 小学校初任者・小学校教員を目指す教師塾塾生または大学生
- ③受講予定者 200名
- ④開催回数 2回
- ⑤内容 新学習指導要領における小学校外国語の授業についての講義
- ⑥研修の評価方法 参加者によるアンケート

(2) 研修会名 外国語活動・小学校外国語科の授業づくり 【教育センター】

- ①目的 小学校外国語教育における「主体的・対話的で深い学び」の具体の姿をイメージするとともに、講義と演習を通して理解を深め、日々の授業改善に資する。

②対象者	小学校教員・中学校教員・高等学校教員・ALT・GET
③受講予定者	120名
④実施時期	9月
⑤内容	文部科学省初等中等教育局視学官 直山木綿子氏による講義演習 「小学校外国語活動・外国語科の指導と評価のポイント」
⑥研修の評価方法	参加者によるアンケート
(3)研修会名	中学校外国語科の授業づくり 【教育センター】
①目的	中学校外国語教育における「主体的・対話的で深い学び」の具体的な姿をイメージするとともに、小中の接続を意識した授業の在り方について、講義と演習を通して理解を深め、日々の授業改善に資する。
②対象者	小学校教員・中学校教員・高等学校教員・ALT
③受講予定者	120名
④実施時期	7月
⑤内容	国立教育政策研究所教育課程調査官 山田誠志氏による講義演習 「学習指導要領に基づいた指導と評価の一体化」
⑥研修の評価方法	参加者によるアンケート
(4)研修会名	小学校外国語専科教員研修 【教職員課・学校教育課・教育センター】
①目的	学習指導要領で目指す小学校外国語教育の在り方について理解を深め、専科教員が自らの役割を自覚し、授業の充実と外国語授業の環境作りに資する。
②対象者	小学校専科教員
③受講予定者	38名
④開催回数	4月 11月 年2回
⑤内容	講義・演習
⑥研修の評価方法	参加者によるアンケート
(5)研修会名	短期海外派遣事業 【教育センター】
①目的	多文化共生教育のための国際交流、姉妹都市交流等を行い、青少年の健全育成に寄与する。
②対象者	小学校教員・中学校教員・高等学校教員
③受講予定者	4名
④実施期間	7月下旬～8月中旬
⑤内容	インターナショナルハウスバンクーバーでの語学研修、ホームステイ
⑥研修の評価方法	アンケート、外部検定受験
(6)研修会名	シェルビービル派遣研修 【教育センター】
①目的	姉妹都市であるシェルビービル市(米国)に教員を長期派遣し、英会話能力の向上を図るとともに、国際的視野を身に付けさせ教員の資質向上を図る。また、現地の社会との交流を図り、姉妹都市交流の一翼を担うこと。
②対象者	小学校教員・中学校教員
③受講予定者	1名
④実施期間	8月下旬～3月上旬
⑤内容	現地小中高校に勤務、ホームステイ
⑥研修の評価方法	アンケート、外部検定受験、事後報告会
(7)研修会名	ストックトン市教員派遣研修 【教職員課】
①目的	姉妹都市であるストックトン市(米国)に教員を短期派遣し、英会話能力の向上を図るとともに、国際的視野を身に付けさせ教員の資質向上を図る。また、現地の社会との交流を図り、姉妹都市交流の一翼を担うこと。

- ②対象者 小学校教員・中学校教員
 ③受講予定者 1名
 ④実施期間 令和3年9月下旬～令和3年10月（隔年での実施）
 ⑤内容 現地小中高での訪問指導、ホームステイ
 ⑥研修の評価方法 アンケート、外部検定受験、事後報告会

(8) 研修会名 教科指導力向上研修

(外国語活動・小学校外国語科と中学校外国語科)【教育センター】

- ①目的 教科・領域別の授業の参観、事後研修を含めた授業研究を通して、教職員として授業改善及び教科指導力向上を図る
 ②対象者 小学校教員・中学校教員・高等学校教員
 ③受講予定者 300名
 ④開催回数 3区 小中各3回 計18回
 ⑤内容 指導案検討、公開授業、協議会
 ⑥研修の評価方法 参加者によるアンケート

(9) 研修会名 外国語教育研修（要請訪問）【教育センター】

- ①目的 学習指導要領を、講義・演習を通して正しく理解し、外国語教育の授業改善を図る。
 ②対象者 小学校教員・中学校教員
 ③受講予定者 100名
 ④開催回数 学校からの要請に応じた回数
 ⑤内容 講義・演習、公開授業、研究協議
 ⑥研修の評価方法 参加者によるアンケート

(10) 研修会名 グローカルイングリッシュティーチャー（GET）研修

【学校教育課・教育センター】

- ①目的 英語が堪能な地域人材GETの勤務や役割について明確にする。また学級や学校での支援のイメージを具体的にもつことで、外国語授業におけるより効果的な支援法や指導法を研修する。
 ②対象者 GET 38名
 ③開催回数 年4回＋訪問指導
 ④内容 講義・演習（役割、服務について、授業づくり、指導の在り方 など）
 授業見学、公開授業参観、研究協議
 ⑤研修の評価方法 参加者によるアンケート

(11) 研修会名 グローカルイングリッシュティーチャー（GET）推進校研修

【学校教育課・教育センター】

- ①目的 小学校5、6年生の外国語科の授業において、GETを活用した授業実践研究を行い、全市に優れた活用事例を広める。
 ②対象者 小学校教員、GET
 ③受講予定者 110名
 ④開催回数 年4回＋訪問指導
 ⑤内容 講義・演習 授業案検討、公開授業、研究協議、授業モデルづくり
 ⑥研修の評価方法 参加者によるアンケート

(12) 研修会名 ALT研修 【学校教育課】

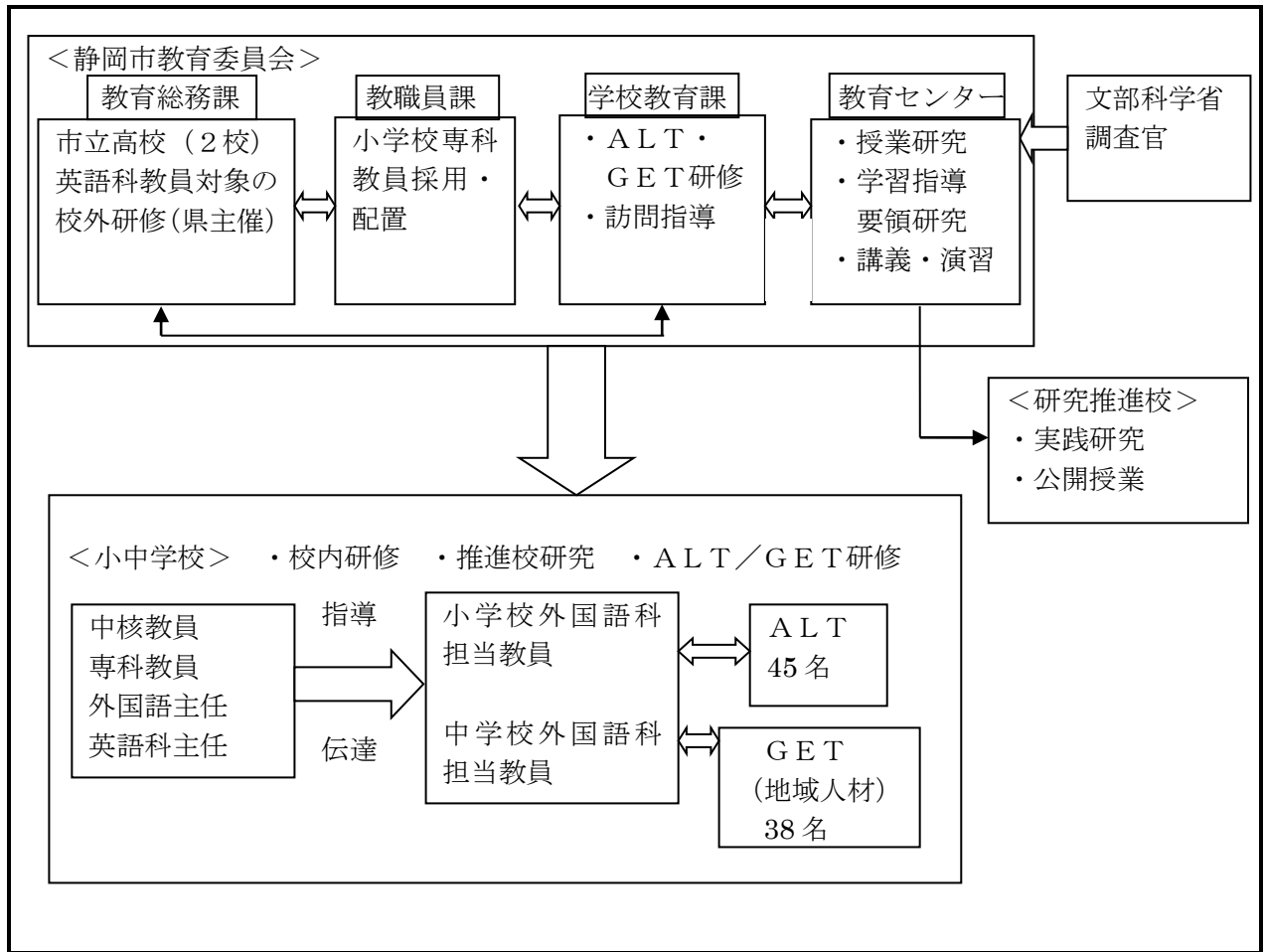
- ①目的 ALTの役割や勤務形態を理解し、小学校学級担任や中学校外国語科教員とのスムーズな連携、授業での効果的なサポート法、パフォーマンステスト支

<p>援等について学ぶ。</p> <p>②対象者 小中高ALT45名</p> <p>③開催回数 年4回+着任時研修</p> <p>④内容 講義・演習、グループ協議、相互参観研修、訪問指導、SDC研修への参加 (JET-ALTのみ)</p> <p>⑤研修の評価方法 アンケート調査(英語教育実施状況調査のALT活用についての項目)</p>
--

(3) 年間事業計画

月	研修会等の取組	外部専門機関等
4月	GET研修①② GET推進校研修① 専科教員研修①	
5月	ALT研修① 教科指導力向上研修専門委員会(小)	
6月	GET・専科訪問指導 教科指導力向上研修専門委員会(中)	
7月	GET・専科訪問指導 短期海外派遣事業 授業づくり研修【中学校外国語科】	海外派遣者 文部科学省
8月	イングリッシュキャンプ2日間 ALT研修② 新規ALT研修	
9月	英語発表会 授業づくり研修【外国語活動・小学校外国語科】 GET推進校研修② 教科指導力向上研修専門委員会(清水区小、駿河区中、葵区中)	静岡大学 文部科学省
10月	GET研修③ GET推進校研修③ 教科指導力向上研修専門委員会(駿河区小、葵区小、清水区中) 教科指導力向上研修(清水区小、駿河区中、葵区中)	
11月	教科指導力向上研修(駿河区小、葵区小、清水区中) ALT研修③ 専科教員研修② 教科指導力向上研修専門委員会(小)	
12月	教科指導力向上研修専門委員会(中) GET研修④ GET推進校研修④公開授業研究会	
3月	ALT研修④	
<p>【その他の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市海外派遣(中高校生)・イングリッシュデイ(小中学校) ・英語キャンプ(小中学校)・英語発表会(中・高等学校)・英語スピーチコンテスト(高等学校) 		

(4) 研修体制の概要



静岡市教育委員会

※表中、斜線部は記入不要。計画段階では目標値のみ記入。

校種	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022		
		目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	
高等学校	①学習到達目標の整備状況	設定(%)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		公表(%)	50%	50%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		達成状況の把握(%)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	②生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)	73%	83%	90%	94%	95%		95%	83%	95%		
	③パフォーマンステストの実施状況											
	現行課程	○スピーキングテスト(回)	コミュニケーション英語Ⅰ	5回	15回	3回	8回	5回		5回	5回	
			コミュニケーション英語Ⅱ	18回	6.5回	3回	6.5回	5回		5回	3回	5回
			コミュニケーション英語Ⅲ	8回	0回	3回	0回	5回		5回	2回	5回
			英語表現Ⅰ	7回	2回	3回	1回	5回		5回	2.5回	
			英語表現Ⅱ	0回	0回	3回	0回	5回		5回	0回	5回
			英語表現Ⅲ	0回	0回	3回	0回	5回		5回	0回	5回
		○ライティングテスト(回)	コミュニケーション英語Ⅰ	6回	6回	3回	10.5回	5回		5回	5回	
			コミュニケーション英語Ⅱ	4.5回	5回	3回	1回	5回		5回	2回	5回
			コミュニケーション英語Ⅲ	9.5回	5回	3回	2回	5回		5回	1回	5回
			英語表現Ⅰ	7.5回	5回	3回	8回	5回		5回	4.5回	
	英語表現Ⅱ	2回	1.5回	3回	5回	5回		5回	9回	5回		
	新課程	○スピーキングテスト(回)	英語コミュニケーションⅠ									5回
			英語コミュニケーションⅡ									
			英語コミュニケーションⅢ									
			論理・表現Ⅰ									5回
論理・表現Ⅱ												
論理・表現Ⅲ												
○ライティングテスト(回)		英語コミュニケーションⅠ									5回	
		英語コミュニケーションⅡ										
		英語コミュニケーションⅢ										
		論理・表現Ⅰ									5回	
論理・表現Ⅱ												
論理・表現Ⅲ												
④英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	82%	89%	100%	66%	100%		100%	46%	100%			
⑤求められる英語力を有する英語担当教員の割合(%)	57%	81%	85%	73%	85%		100%	95%	100%			
⑥求められる英語力を有する生徒の割合(%)	62%	65%	70%	82%	85%		95%	91%	95%			

校種	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022	
		目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
中学校	①学習到達目標の整備状況	設定(%)	100%	100%	100%	100%	100%	100%	97.7%	100%	
		公表(%)	10%	4.7%	20%	6.9%	20%		50%	30.2%	100%
		達成状況の把握(%)	50%	86%	90%	88.3%	100%		100%	39.5%	100%
	②生徒の授業における英語による言語活動時間の割合(%)		85%	85.7%	86%	79.4%	88%		90%	58.3%	90%
		③パフォーマンステストの実施状況									
		スピーキングテスト(回)	3回	2.7回	3回	3.1回	3回		4回	3.6回	4回
	ライティングテスト(回)	3回	1.6回	3回	2.3回	3回		4回	3.1回	4回	
④英語担当教員の授業における英語使用状況(%)	75%	79.3%	80%	86.9%	87%		90%	65.6%	95%		
⑤求められる英語力を有する英語担当教員の割合(%)	30%	32.1%	35%	35.6%	38%		40%	40.9%	42%		
⑥求められる英語力を有する生徒の割合(%)	46%	37%	47.3%	41.5%	48.6%		50%	46.7%	50%以上		

校種	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022	
		目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
小学校	学習到達目標の整備状況	設定(%)						20%	86.9%	100%	
		公表(%)						20%	15.5%	50.0%	
		達成状況の把握(%)						100%	100%	50.0%	75.0%

独自 No.	指標内容	2018		2019		2020		2021		2022	
		目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値	目標値	達成値
小学校	① 外国語でコミュニケーションすることが楽しいと感じている児童の割合(%)【各区GET推進校(抽出校)】	80%	88%	89%	96%	96%	91%	96%以上	93.8%	96%以上	